

新人柔道大会要項

- 1 大会名 第37回 筑前地区中学校新人柔道大会 第27回 筑前地区中学校新人女子柔道大会
- 2 期 日 令和2年11月14日(土) 受付開始 8:45(役員集合 8:00) 審判会議9:00
競技開始 9:30(開会式は実施しない)
- 3 会 場 福岡武道館 (〒810-0052 福岡市中央区大濠1丁目1番1号 TEL 092-714-1900)
- 4 参加制限 各区から選出されたチームとする。
 - (1)男子は監督(校長・教員・部活動指導員)1名、コーチ1名、選手7名以内とする。
女子は監督(校長・教員・部活動指導員)1名、コーチ1名、選手4名以内とする。
監督・コーチは各学校よりそれぞれ1名とする。
 - (2)男女とも団体戦のみとする。女子団体戦はオープン参加とする。(16チームを超えないこととする。)
 - (3)監督・コーチの服装は審判員に準じる。
- 5 競技方法
 - (1)引率・監督は出場校の校長・教員・部活動指導員とする。コーチについては、出場校の教育職員とする。但し、教育職員以外のコーチは校長が認め、筑前地区中体連に登録し承認を受けたものとする。
 - (2)男子団体戦は、参加16チームを4チームずつ4組に分け、各組でリーグ戦を行い、各組の上位2チーム(8校)によって決勝トーナメントを行なう。
 - (3)女子団体戦は、オープン参加とする。出場校に変動があるため、各地区の順位を考慮して専門部において組み合わせを行なう。
 - (4)チーム間の勝敗は次のとおりとする。
 - ①勝者数の多い学校を勝ちとする。
 - ②①で同等の場合は、「一本」もしくは、それと同等の勝ちによる勝者の多い学校を勝ちとする。
 - ③②で同等の場合は、「技有」による勝者数の多い学校を勝ちとする。
 - ④③で同等の場合は、「僅差」による勝者数の多い学校を勝ちとする。
 - ⑤④で同等の場合、リーグ戦では「引き分け」とする。決勝トーナメント戦では、代表戦を行い必ず勝敗を決する。なお、代表戦に出場する選手は、チームの任意により1名を選出する。
 - (5)リーグ戦の順位は次のとおりとする。
 - ①3勝、2勝1分、2勝1敗、1勝2分、1勝1敗1分、1勝2敗、3分、2分け1敗、1分2敗、3敗の順とする。
 - ②①で同等の場合は、リーグ戦を通じて勝者数の多い学校を上位とする。
 - ③②で同等の場合は、リーグ戦を通じて「一本」もしくはそれと同等の勝ちによる勝者数の多い学校を勝ちとする。
 - ④③で同等の場合は、リーグ戦を通じて「技有」による勝者数の多い学校を勝ちとする。
 - ⑤④で同等の場合は、リーグ戦を通じて「僅差」による勝者数の多い学校を勝ちとする。
 - ⑥⑤で同等の場合は、リーグ戦を通じて敗者数の少ない学校を上位とする。
 - ⑦⑥で同等の場合は、リーグ戦を通じて「一本」もしくは、それと同等の勝ちによる敗者数の少ない学校を上位とする。
 - ⑧⑦で同等の場合は、リーグ戦を通じて「技有」による敗者数の少ない学校を上位とする。
 - ⑨⑧で同等の場合は、リーグ戦を通じて「僅差」による敗者数の少ない学校を上位とする。
 - ⑩⑨で同等の場合は、代表戦(1名)による順位決定戦を行なう。なお、代表戦に出場する選手は、チームの任意により1名を選出する。
- 6 競技規則
 - (1)国際柔道連盟審判規定(2018~2020)「少年大会申し合わせ事項」及び本大会の申し合わせ事項による。
 - (2)勝敗の判断基準は、団体戦においては、「一本」「技有」又は「僅差(指導の差2以上)」とする。
 - (3)代表戦の判定基準は団体戦と同様にするが、3分間の本戦で得点差がない場合は、延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。延長戦による勝敗の決定方法ついて、技による得点がない場合、「指導」差が上回った時点で決する。
 - (4)優劣の成り立ちは以下のとおりとする。
{「一本」=「反則勝ち」>「技有」>「僅差」}
 - (5)試合時間は、3分間とし、延長戦は無制限とする。
 - (6)競技規則に、問題が起こったときは、専門委員会で協議する。
 - (7)チーム編成(オーダー)は体重順とし、一番軽い者が先鋒、一番重い者が大将とする。なお、補欠の選手を入れる場合も、体重順になるようにする。(体重が同じ時は、新たに入る者が先鋒に近い方とする)
 - ①試合は、選手5名(女子3名)の対抗戦とする。オーダーの変更は認めない。
 - ②一度退いた選手は、再出場を認めない。
 - ③申し込みの選手が事故のため変更するときは、大会開始前において、学校長の職印を押した届けをもってこれを認める。※補欠選手の補充を行う。
 - (8)柔道衣の色は白色とし、帯は白帯と黒帯のみとする。女子の白線入りの黒帯は認めない。
 - (9)柔道衣にゼッケンを着用して試合をする。(学校名・名字入り)
 - ①布地は白色とし、サイズは横30~35cm、縦25~30cmとする。
 - ②名字(姓)は上側2/3、学校名は下側1/3とする。
 - ③書体は太字ゴシック体とする。(明朝または楷書でもよい)
 - ④文字色は、男子は黒色、女子は濃い赤色とする。
 - ⑤襟から5cm~10cm下部の位置で、周囲と対角線を強い糸で縫い付ける。
 - (10)女子は、上衣の下の部分に白色又は白に近い色の半袖で無地のTシャツ又は半袖のレオタードを着用すること。(全日本柔道連盟が定める規定・平成25年4月1日より施行)
 - (11)試合者が絞め技で失神した場合はそれ以降、一連の試合に出場することができない。

7 外部指導者（コーチ）のベンチ入りについて

- (1) 令和2年度福岡県中学校体育連盟外部指導者登録要項により手続き・登録が完了している者。
- (2) コーチのベンチ入りは1校1名とする。同一校で男女ともに出場権を得ているチームは、それぞれに外部指導者（コーチ）を置くことができる。ベンチ入りは大会申込者本人に限る。
- (3) 大会本部発行のIDカードは、大会当日に受け取り、大会中は必ず携帯すること。
- (4) 服装は、審判員に準じた服装とし、マナーを守り、良識ある態度で生徒の指導にあたる。
- (5) 監督会議への参加は認めない。監督会議での申し合わせ事項等は、連絡を密に取り内容の周知徹底を各学校の責任において図る。

8 申し合わせ事項

- (1) 計量時にマナーチェックを行う。違反等があれば規律委員会で協議する。
- (2) Jアラート等警報時の対応については、監督者会議で確認する。
- (3) AED 設置場所は事務室とする。

9 参加資格 筑前地区中学校総合（新人）体育大会参加資格「特別規定」による。

10 表彰 1～3位まで賞状を授与する。
県大会については、男女とも4位までが出場資格を得る。

11 申し込み 規定の申し込み用紙に書き込み、校長職印を押し、各区専門部長でまとめ、令和2年10月19日（月）までに、下記までFAXにて申し込むこと。また同一文書を直ちに郵送すること。

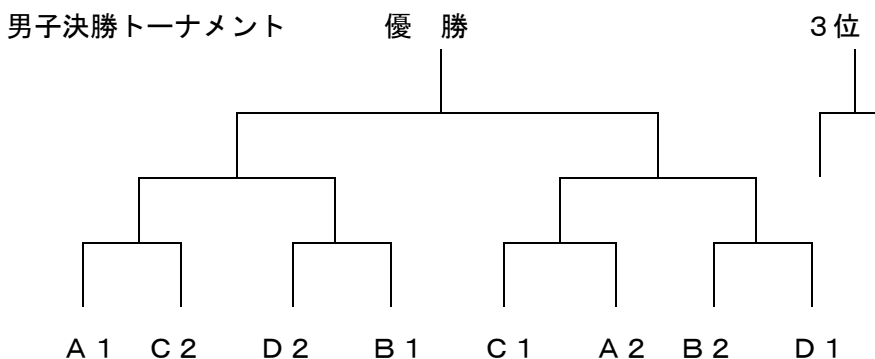
（〒811-2313）糟屋郡粕屋町江辻430 粕屋町立粕屋東中学校内 中野 大介 宛
TEL 092-939-0740 FAX 092-939-4064

12 専門委員 <糟屋> 中野 大介（粕屋東中） <宗像> 花田 英雄（城山中）
<糸島> 馬場 海斗（前原中） <筑紫> 細田 貴義（二日市中）

13 組み合わせ

【団体戦】 男子予選リーグ（女子団体戦は、出場校数の変動があるため、専門部において協議の上決定する。）

Aリーグ	Bリーグ	Cリーグ	Dリーグ
第1試合場	第2試合場	第3試合場	第4試合場
糟屋1位	宗像1位	糸島1位	筑紫1位
筑紫2位	糸島2位	宗像2位	糟屋2位
宗像3位	筑紫3位	糟屋3位	糸島3位
糟屋6位	糟屋4位	筑紫4位	糟屋5位



14 本大会の新型コロナウイルス感染予防対策

- 受付時に当日の健康観察シート（選手・指導者・大会役員・審判）を提出しなければならない。
- 無観客とし、事前に登録した者しか施設入場できない。
- 受付時の検温で発熱等があった者は大会参加及び施設入場することを自主的に控える。
- 開会式を行わず、各チームの試合時間に合わせて受付を行う。
- チームごとに消毒液を持参しなければならない。試合の「前」と「後」は、消毒や手洗いをを行う。
- 各チームが使用した場所（待機場所やベンチなど）は持参した消毒液で消毒しなければならない。
- 大会終了後には全身を自宅にてシャワーで洗う。
- 感染予防の観点から更衣室は設けられないため、あらかじめ柔道衣を着用しておかなければならない。
- 施設に入場する者は、必ずマスクを着用しなければならない。また、消毒を行ってから、入場しなければならない。
- 靴はビニール袋に入れ、持参した状態で1階・2階の移動を行わなければならない。また、下駄箱は使用できない。
- 選手については、試合時のみマスクを外してよい。
- 2m以上のソーシャルディスタンスを守らなければならない。
- 施設への入場制限のために、IDは常に首にかけなければならない。
- IDは必ず返却してから、退場しなければならない。IDは消毒したのちに、次の選手に使用する。
- また、自チームの試合がすべて終了したら、速やかに決められた出口から退場しなければならない。
- 選手・指導者は、試合が行われている時のみ、1階に入場することができる。
- 試合が行われている選手と監督コーチしか柔道場に入ることはできない。次戦以降の選手は剣道場で待機しなければならない。
- 1階・2階への移動は一方通行とし、指定された「上り階段」「下り階段」を使用しなければならない。
- 水分補給用の飲料については、個人で準備し、チームで共有してはならない。
- トイレを流す際は、フタをしめて流さなければならない。
- トイレ使用後は、30秒以上の手洗いと手指の消毒を必ず行う。
- ゴミは各自、持ち帰らなければならない。
- 敷地内は全面禁煙とし、喫煙場所は設けない。
- 常時、換気したままで大会を運営する。
- 大声での指示や応援・ハイタッチなどの接触は禁止とする。
- 上位3チーム（優勝・準優勝・3位）は決勝や3位決定戦が終了次第、代表1名が本部に集合する。密を避けて表彰を行う。
- 選手や観客が受付後に体調不良を感じた場合は、監督に申し出るとともに、監督は対策を講じなければならない。
- 会場使用にあたって柔道場における規定の人数制限があるため、試合最初に行うチーム同士の挨拶（礼）は実施しない。
- 密を避けるため、受付時に「計量」「マナーチェック」「柔道衣コントロール」を行う。
- ※計量により、オーダー変更が生じた場合、係は随時、本部に連絡しなければならない。